

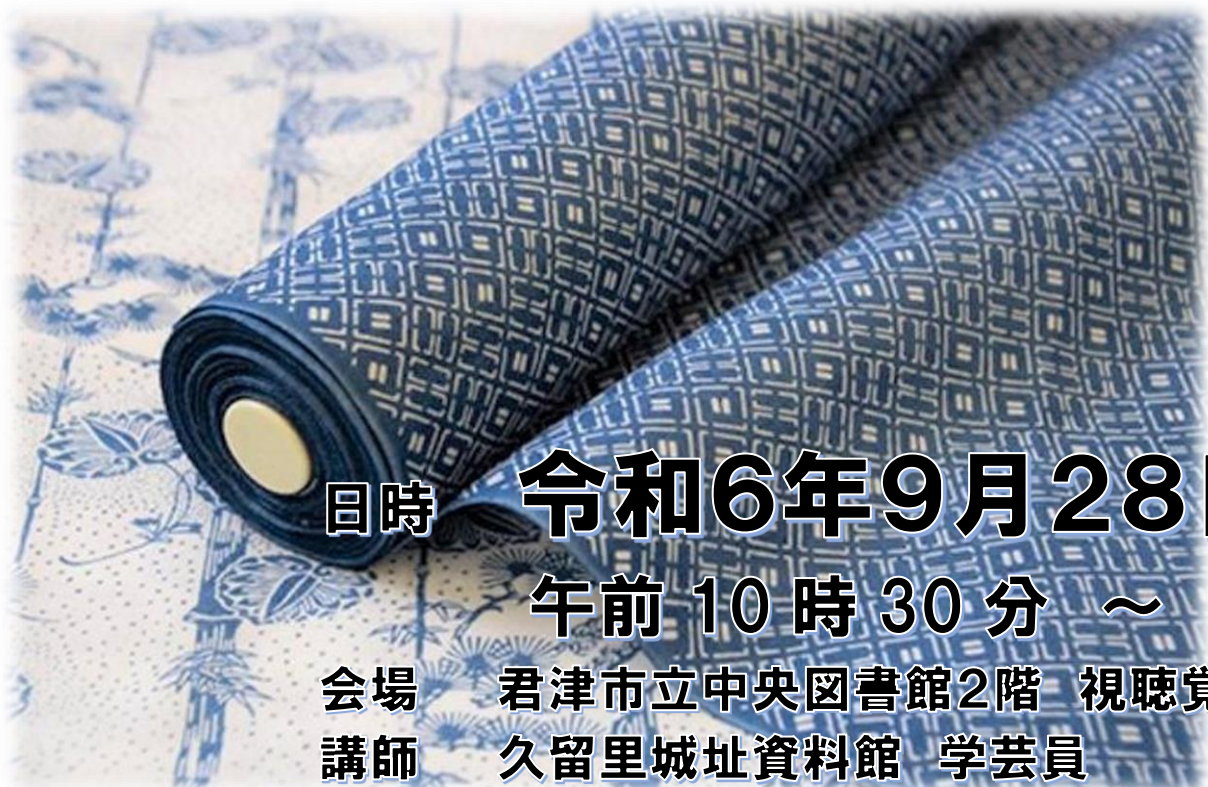
# 日本を代表する伝統の技

## — 長板中形の魅力 —

日本の伝統的な染色法である、長板中形。

反物の両面に糊を置き、表裏同じに文様を染め表すことで、藍×白の美しいコントラストを浮かび上がらせることが特徴です。

令和5年、国の重要無形文化財・長板中形の技術保持者(人間国宝)に、市内在住の松原伸生氏が認定されました。その伝統の技術と魅力にスライドや動画で迫るとともに、長板中形が登場する浮世絵や時代小説等をご紹介します。



**日時** 令和6年9月28日(土)

**午前 10 時 30 分 ~ 正午**

**会場** 君津市立中央図書館2階 視聴覚室

**講師** 久留里城址資料館 学芸員

**申込** 9月1日(日)から

**中央図書館相談デスク、申込みフォーム**

定員 100 名



申込みフォームこちら

### 【同時開催】

「長板中形—松原伸生の伝統と展開—」

期間：9月3日(火)~29日(日)

会場：中央図書館 企画展示室

令和5年度に久留里城址資料館で開催した企画展より、選りすぐりのパネルを展示。また、君津市が収集した松原氏の作品もお披露目します。



君津市立中央図書館 0439-52-4646